


 うすい日出男の
〈こくせいふかん〉の目

いま“戦後”脱却の刻！

戦後67年、日本は“戦後という時代”を生きてきた。景気が良くなったり、不況に陥ったりしたが、それでも凡々と平和が続き、その平和が将来共に続くと思いついでいる時代だ。しかしよく眼を見開くと、この平和な戦後という時代は、変革の刻を迎えていることに気付く。そこには二つの大きな要因がある。一つは中国の覇権主義の激化という現実であり、いま一つが、時あたかも日本のリーダーに安倍晋三という男が総理として登場していることだ。

いまこの二つの事実が激突している。近年の中国のその強大な軍事力を後ろ盾にした覇権主義は、如何にも露骨だ。激突の最前線は“尖閣列島”だが、どうも中国の視野には、もっと広い、いわゆる第二列島線といわれる日本など遥かに遠く離れた太平洋の米領グアムを含む地域まで含む領域にまで及んでいる。尖閣列島海域には、連日のように中国艦艇が徘徊し、中国潜水艦が日本の接続海域を越え、日本領海を潜水侵犯し、

最近では、「沖縄も日本領土と確定はしていない、中国にも権利が残されている」とまで発言している。

問題は現在の日本には、こうした他国の予期せざる不法な行為に対しての備えが全く出来ていないことだ。こうした圧力に対抗する最良の方策はそれに対する「断固たる防衛の“力”と“意志”をしめすこと」だ。これに対し、我が国国民は、まさか!? 中国が実力で日本の領土を侵すことはないだろうと楽観的な観測に頼りきっている。例えば、元々、巡視船の対象は軍艦や公船を除く民間が職務の対象であり、一方、自衛艦が対抗するには、「防衛出動」という国の大きな決定がなければ、何もすることが出来ない。

いま安倍首相という決断力を持ったリーダーの決断で、集団的自衛権ばかりでなく、平時における個別的自衛権行使の法改正をすべき刻だ。安倍総理にはそれが出来ると信じている。「刻は熟している」。

前衆議院議員 白井日出男



6・7・8月のスケジュール

6/1(土)	定時総会	18:00開会 ホテルグリーンタワー幕張	7/15 (月)祝	納涼会 ナイター観戦 千葉ロッテマリーンズ VS 福岡ソフトバンクホークス 17:00開始 参加費 3,000円
6/12(水)	役員会	18:30開会 プラザ菜の花	7/23(火)	定例夕食会 19:00開会 参加費 3,000円 会場: 鮎割煮みどり
6/25(水)	定例夕食会	19:00開会 参加費 3,000円 会場: 鮎割煮みどり 卓話「ネット選挙解禁に向けて」 千葉市選挙管理委員会 鈴木事務局長	8/14(水)	役員会 18:30開会 プラザ菜の花
7/10(水)	役員会	18:30開会 プラザ菜の花	8/24(火)	定例夕食会 19:00開会 参加費 3,000円 会場: 鮎割煮みどり

1年間、「会報つきぼし」の発行をはじめとする広報委員会の委員長を務めさせていただきましたが、この号をもってバトンタッチいたします。私はお飾りのようなもので、編集クルーがプロフェッショナルなセンスで会報を制作してくれました。会員企業訪問の取材には私も同行させていただきましたが、大変勉強になり、有意義な時間でした。この企画はぜひ、次年度も続けていただきたいと願っております。またホームページは、阿佐一郎副委員長が情報の更新に取り組んでくれました。少しは前進したのではと思っています。

宍倉会長にもご参加いただいた毎月の編集会議は、決めるべきことをしっかり決めたあと親睦の場になり、楽しいひと時でした。皆さん、お疲れ様でした。そして、多忙な中、毎回、玉稿を賜りました白井先生や各委員長の皆さまにも厚く御礼申し上げます。今号のアベノミクス座談会は、役員の方々に無理なお願いをして実現したのですが、快くお引き受けいただきましたこと、心より感謝しております。皆さん、誠にありがとうございました。(大浦)

INDEX

緊急座談会	1～3
例会報告	3
臼井先生連載 / 委員会報告	4
会員異動 / スケジュール	4

元気が戻ったか、千葉の中小企業

——【緊急座談会】月星会、アベノミクスを検証する！——



アベノミクス効果で円安・株高が急速に進み、巷に景気浮揚感が広がっている。内閣府が発表した1月～3月のGDP（実質国内総生産）も前年同期比3.5%増という高い伸びを示し、景気回復を裏付ける格好だ。

消費の上向きも連日報道されている。百貨店では、高級品が売れ、ビジネス街では1,000円台の弁当が売れているとか。ワンコインランチや200円台の弁当が歓迎されていた一時期とは様相が変わっている面があることは確かだ。

しかし、この景気感が国内の実体経済を反映したものなのかどうかとなると、大方の人が否定的な見方をする。

「給料は上がらないから、相変わらず家計は苦しい」

「景気がいいのは円安の恩恵を受けている大企業だけ」と、こんな声ばかりである。

中小企業経営者のアンケートなどを見ると、どの調査でも業績への好影響はないとの答えが3分の2程度を占めている。

たとえば、千葉県の民間調査機関、千葉経済センターがちばぎん総合研究所の委託により県内企業を調査したところ、71%の企業が「影響なし」と答え、好影響があると答えた企業は17%に留まっている。

ただ、ちばぎん総合研究所はこの調査について、「現状では業績の影響度は低いものの、今後には期待できる」とコメントしている。

さて、以上がアベノミクスに対する現段階での大方の見方だと思うが、わが月星会会員の企業はどうなのだろうか。広報委員会は、会員企業のアベノミクス効果を確認すべく、5月1日の役員会に“乱入”した。

役員会の議事終了後におよそ40分間の時間をいただき、役員の方の皆さんの企業やその周辺の現況について話を伺ったのである。

役員の方々は、広報委員会が突然、無理やりお願いしたわがまま座談会を快く受け容れてくださった。フリートークでそれぞれの現状を語ってくれた内容をご報告する。

「関係ないね」が今の現実か

司会 さっそくですが、アベノミクスを皆さんの企業自身や周囲の企業がどのように受け止めていらっしゃるのでしょうか。



尾形 大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略

という3本の柱によってデフレ経済から脱し、景気を浮揚させるというアベノミクスですが、感じているところを正直に言えば、消費税が来年春から8%になってしまうということ、さらに直近では円滑化法（中小企業金融円滑化法）がこの3月で終了したことなど、今までの景気の悪い状況を引きずりながら、かえって悪くなっていくのかなあという思いのほうが先立ちます。

自社だけを見た場合、アベノミクスによって何か恩恵を受けたというようなことはありません。

お金をじゃぶじゃぶ刷って世の中に流すということです

が、それが中小企業に回ってくるには2年ぐらいかかるのではないかという気がしています。



司会 尾形さんのところは印刷会社ですから、いろいろな業種のお客さまと取引があると思いますが、印刷の内容が派手になったとか量的に増えたということはないのですか。

尾形 ないですね。印刷というのは、景気の影響を受けるのが遅いのですよ。阿佐さんのところはどうですか？

阿佐 今日も、仙台に本社がある東京のお客さまとアベノミクスのお話をしましたが、お互いに「我々には、一切関係ないね」というのが結論でした。ただ、株価が上がって含み資産を増やそうといった意欲が盛り上がっている会社があるのも事実ではないかという話も出ました。バブル崩壊後、ずっと株価が低迷していましたから。しかし、現実には事業面では良い材料が出てきていることはありません。印刷業は斜陽産業ですからね（笑）。



司会 そういう意味では出版関係も厳しい状況が続いていて、私が関係した会社では印刷をはじめとする取引先に一律15%の値下げを通告していました。これが現状の実態なのでしょう。ただ、株高によって世の中の空気感が変わってきたことも事実ではないでしょうか。百貨店では高級品が売れているとか、一部には購買意欲の上昇も見られるようですが。

川名 消費者の購買動向調査などでこの3月は5%ぐらい上昇しているという記事が出ていましたね。中身は宝飾品など高級品のようですが、ただ、車も売れているようです。いずれも景気に対する期待感を反映しているものだと思います。これから道路や橋などの改修工事も含めて公共投資が拡大していけば、実際に景気が良くなる面もあるのでしょうか、現時点でたとえば千葉の中小企業がどうかというと、まだまだという感じでしょうか。今後は変わってくるのかもかもしれませんが、今のところ、「我々には関係ないよ」というのが現実だと思います。



自社の経営努力いかん

司会 花屋さんというのは、世の中の空気感が影響しやすいと思いますが、産方さんのところはどのなのでしょう？

産方 多分にあると思います。自民党政権に変わった12月から胡蝶蘭が値上がりし、そのまま高値の状態が続いています。例年だと3月初めまでは安いのですが、今年は違いました。当選祝いや入閣祝い、そしてアベノミクスで株価が上がると、人の付き合いが派手になってきたという要因だと思います。



私の店は千葉ですから数字的にはそれほどでもないのですが、東京の花屋さんはだいぶ良いようです。東京の場合、日本郵便が丸の内につくった商業施設「KITTE」をはじめとして、いろいろな商業施設がオープンしているという事情もあります。それがアベノミクス効果とは直接的には言えないと思いますが……。私の店でもこの春先は、「祝竣工」などのお花を注文されるケースが去年あたりより増えているのは確かです。

いずれにせよ、3年前に民主党政権が誕生したときとは様相が違います。あのときは、お祝い需要を期待して胡蝶蘭を仕入れ過ぎた花屋さんがたくさんありましたから。

司会 民主党政権時代に「閉塞感」という言葉をよく見聞きし、私も使いましたが、自民党政権になってからあまり使われなくなりました。雰囲気も前向きになっているということでしょうね。岩田さんの会社はいかがですか？

岩田 うちあたりの規模では、アベノミクスの影響は出てこないのではと思っています。我々ぐらいの会社の業績は、アベノミクス云々というよりは、自社の努力次第ではないでしょうか。うちは昨年度の決算で売上げを2割程度伸ばしてよかったのですが、今年の3月で失速してしまいました。まるで世間と反対の歩みですが、振り返ってみれば、やはりこのところ経営努力をしていなかったなあと感じているところです。



司会 前年度は、どのような努力をされたのですか？

岩田 あるテレビ番組を観ていたら、「必要なものは買いなさい。便利なものは買わなくていいですよ」という言葉が印象に残ったのです。うちのユニホームは、「必要である」ということを前面に出せばいいのだと、そういう営業、企業努力をがんがんやったのです。ある得意先で大手の営業と戦って勝ち抜いたことも大きかったでしょう。ただ、結局のところ、私と社長の努力の部分でしか売上げが上がっていません。社員みんなで努力すればもっと上がるのですが、なかなかそこまで至らない。我々のような会社は、トップの努力次第ということでしょうね。

司会 いいお話ですね。企業規模にかかわらず、本来、企業業績は経営努力の結果であることは間違いないですね。グリーンタワーさんもいろいろ努力されていると思いますが、もともと花屋さんと同じように景気とか空気感の影響を受けやすい業種だと思いますが、どんな状況ですか？

わずかながらも、お客様が増えている

林(威) 宴会やパーティが華やかになったとか、単価が上がったという面があればいいのですが、まだ相変わらず単価が低いまま推移しています。レストランのほうも同様で、単価の高い料理がよく出るかといえば、そうはなっていないのが現状です。一方、宿泊のほうは幕張メッセのイベントや会議がこれから多く予定されているので、期待で



きる面もあります。円安に振れているので、周りのホテルでは台湾やタイ、ベトナムなど東南アジアからのお客さんが増えているようです。うちに入れていないのですが。

また今年ではディズニーランドの開業30周年ということで、ディズニーランド絡みのお客さんが多くなってくると思いますし、現に増えています。これは、アベノミクス効果で国内旅行者が増えていることと相俟って良い影響が出ている面だと思います。

司会 林理智子さんの会社は、いかがでしょうか。健康食品を求められるお客さんが増えてきたといったような傾向は出ていますか？

林(理) 円安になって輸入品は値上がりしていますし、来年春から消費税も上がります。そう考えると、本当に景気が良くなるのかなあと疑問に思っているところなのですが、小さなうちの店だけのことを言いますと、暖かくなった春からお客さんが少しずつ増えています。皆さん、株や投信で儲けたという面があるのでしょうか、わずかながらもお客様の出足が増えてきたことは確かです。でも、それは今のちょっとした流れだけなのかもしれません。私は、この夏の参議院選挙と来年の消費税増税がどう景気を左右するか、そこがポイントだと思っています。



司会 円安によって小麦粉などの原材料が上がっていますからパン屋さんや弁当屋さんは大変苦しんでいますね。エネルギーコストも今後さらに上昇することは確実ですし、景気に対してネガティブな要因をあげればいくらでも出てくるのですが、それでも期待感によって景気浮揚感が広がっているというのが現状なのでしょう。

自社がどうプラスに持っていくか

産方 まだ3本の矢の1本目が放たれただけなのでから

ね。このあと予算が成立・執行されて、公共投資がどんどん行われていけば期待感ではなく実態としての景気が上がり、雇用の改善も実現していくのではないのでしょうか。3本目の矢の成長戦略も睨んで、今後そういうものが波及していきそうな市場に行くしかないと思います。尾形さんの会社も、そういうところを狙っているんですね。

尾形 はい。アマゾンでの通販事業を始めようと考えているところです。印刷だけでは食べられなくなってきているので、いろいろ新しい事業を考えなければなりませんから。それで先日、ネット通販のセミナーを主催しました。当初50社の予定で募集したら、70社ぐらい集まりました。中小企業の皆さんが、ネット通販に対する前向きな考え方を持たされたなあと感じています。

司会 それも岩田さんのおっしゃる企業努力ということですね。会長、最後にひと言を。

穴倉 アベノミクスといっても、我々どのくらい返ってくるかまだわからないというのが実情だと思いますが、心が浮いてくるところも私自身ありますし、世相が上がっていくというのは素晴らしいことだと感じています。



岩田 あの、ちょっと低レベルの質問をしますが、お正月のお賽銭は去年に比べて増えたんですか？(笑)

穴倉 ご祈願者は非常に多かったのですが、その割にパーセンテージは増えませんでした。今回、お守りの設定の仕方とか看板の出し方が悪かったかなと、反省しているところです(笑)。

司会 それも、企業努力の問題というところでしょうか。アベノミクスを自社のプラスに持っていくのかどうかは企業努力次第ということで、今日はまとめましょう。ありがとうございました。

(司会・文責/奥平。上記以外のお話もたくさん出ましたが、紙面の都合で割愛させていただきました)

例会委員会レポート

夕食例会

於：鯨割烹みどり

4月夕食例会は参加者26名で地元千葉で活躍中の落語家、寝越屋こう生さんにお題「転失気」をご披露頂き皆さん和やかな笑いのひとときを過ごしました。また落語をやるようになった経緯やこれからの活動目標を熱く語って頂きました。

5月夕食例会は参加者31名で千葉を代表する菓子舗、オランダ家の池田和正社長に会社の歩み、そして大ヒット商品「千葉ミルフィーユ」誕生秘話、さらに今後の展望について実体験に基づく貴重なお話を頂きました。また皆さん全員にオランダ家のお菓子のお土産を頂きました。5月例会は今年度最後の夕食例会に相応しい大変有意義な例会となりました。

また恒例の山本相談役による「美術鑑賞の壺」は4月が「ラファエロ」「ルーベンス」展について、5月がギリシャ旅行をしての現在のギリシャの美術、文化財の状況等についてお話頂きました。(林 威樹)

